

留 学 報 告 書

記入日:2017年9月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2017年6月～2017年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年9月17日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月中旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	27311人
創立年	1965

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	5,950	654,500円	
宿舍費	2,100	231,000円	On Campus
食費	120	13,200円	
図書費	150	16,500円	Amazon Rental 利用
学用品費	20	2,200円	
教養娯楽費	1,100	121,000円	旅行費含む
被服費	100	11,000円	
医療費	0	0円	
保険費	227	25,000円	形態:海外旅行保険
渡航旅費	954	105,000円	直行便往復
雑費	400	44,000円	適当です
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	11,121	1,223,400円	1USD=110JPY

渡航関連

渡航経路: 東京国際空港(HND)⇄ロサンゼルス国際空港(LAX)

渡航費用

チケットの種類 往復券

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 105,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

DeNA Travel

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(Arroyo Vista)

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3) 住居を探した方法:

とくに探したわけではなく、プログラムの一番オーソドックスな滞在方法として勧められていた。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

建物自体はかなりきれいで過ごしやすいが、エアコンがないため暑い日はたまに寝苦しい。キッチン、トイレ等は共同で利用する。きれいかどうかはメンバー次第。大画面のテレビがあるので HDMI ケーブルがあると Netflix などで映画を見る際に便利。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッションのオフィス、または友人

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険なエリアを友人から聞いていた。アーバインは安全なので盗難は聞いたことがない。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮と学校は WIFI 接続が基本的に良好。映画を見るときなどにたまに止まることもあるがほぼ問題ない。ショッピングセンターのフリーWiFiは電波が弱い。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

マネバカードというクレジットとしても使えるプリペイドカードにチャージして出金していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

歯ブラシ(アメリカはヘッド部分が日本の2倍くらいある)、保冷の利くコンパクトな水筒、箸

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前の締め切りまでにクレジットで支払い。なお VISA と Mastercard のみ対応。

卒業後の進路について

1) 進路

<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など			
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。			
都市開発、まちづくり業界			
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。			
就活よりはむしろ旅行したいなどの欲求が出てきましたが、様々な街やアートを見るにつれて前から興味があった街づくり業界への関心が高まりました。			
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。			
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。			
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。			

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Academic English: University Writing and Communication	ライティングとコミュニケーション
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	6 週間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Maryam Islami
授業内容	ライティングをメインとしつつ E メールやビジネスシーンなどにも少し触れる授業。書き方はもちろん論理的に話を進める方法なども教わる
試験・課題など	毎授業後にエッセイや論文の課題が出る。試験はショートエッセイだが、基本は毎週の課題がメイン。
感想を自由記入	毎回課題が3つずつ位出るので、思っていたよりはしんどかった。ただ留学生用の授業であるので理解しやすく先生も面白かった。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Academic English: Advanced Conversation	発展会話
科目設置学部・研究科	ESL

履修期間	Session2(6週間)
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Gina Ann Ruggiero
授業内容	ネイティブスピーカーが行う方法でのコミュニケーションを学ぶ。
試験・課題など	課題はポキャブラリーなどの簡単なもの。テストは今までの内容を振り返る基礎的なペーパーテスト。
感想を自由記入	イディオムやナチュラルなフレーズが学べたので良かった。ただ英語ができる人には物足りない授業だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	Session1(6weeks)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Kelly Eunjung Yoon
授業内容	マーケティングの基礎を中心に学び、最近の企業や過去の事例を手法とともに取り上げていく。先生は親切でグループを重視した授業。
試験・課題など	課題は主にグループワーク。試験に関しては選択式と記述式の両方が出てくる。
感想を自由記入	マーケティングの基礎がわかりやすく学べた。事例と動画を多く用いるので、聞き逃しても理解することができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organizing Change and Innovation	組織変化とイノベーション
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	Session2
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッションを交えた講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Grace Mclaughlin
授業内容	組織の改革やその障壁、イノベーションについて学ぶ。生徒の授業参加が重視され、授業中は発言が絶えない。新設なので自由な雰囲気。
試験・課題など	課題はグループワークとして企業研究や毎回の授業前にクイズに答える2種類。試験はショートアンサーだが勉強した分取れるような良心的な問題だった。
感想を自由記入	内容はそこそこ難しいが、教授の英語はわかりやすくとても優しい方なので取り組みやすかった。また、ジョークなどが好きなので授業中は明るい雰囲気でよかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	パスポートの作成
8月～9月	語学試験、英語の勉強
10月～12月	出願、語学試験の勉強(スコアに達していない場合)
2017年 1月～3月	選考、留学準備、留学先の履修登録
4月～7月	留学準備(買いものや履修した授業の予習)、ビザ申請、渡航、Session1開始、7月前半：中間試験、7月後半：期末試験
8月～9月	Session2開始、8月後半：中間試験、9月前半：期末試験、帰国
10月～12月	留学報告書作成
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと思った理由	今まで海外渡航経験が幼少のころにしかなかったのですが、ゼミの活動や授業を通して海外に興味を持つようになりました。ゼミやバイト先で留学生や英語と触れる機会が増えたのが原因かもしれません。また、留学までは特に変わったこととしておらず、何かに挑戦したいと漠然と考えていました。そこでいろいろボランティアやインターン、留学を調べているうちに学生のうちにもっと世界に視野を広げたいと思ったのでその中で留学に決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	日本の環境でスピーキングを上げることはネット英会話などしない限り難しいですが、スピーキングとリスニングの訓練が必要だと思います。やはり着いた当初はなかなか言いたいことが話せず、また少し癖のある話し方の人の言っていることがわからないことが度々ありました。教材を使ってフレーズや雰囲気などはつかめますが、実際の会話とは全く違うものだと実感することになりました。語学以外では、自分の国や相手の国について話す機会があったので日本の文化・歴史はもちろん世界情勢を英語で説明できるように準備しておけばよかったと思います。
この留学先を選んだ理由	もともとは1年間の交換留学に行こうと考えていましたが、明らかな準備不足だったので当然スコアも足りずに断念してしまいました。しかし、そんな中UCサマーセッションの募集があるのを見つけ、すぐに参加することに決めました。そしてUCの中でもバークレー、アーバイン、ロサンゼルスなどからアーバインを選んだのは、最もサポートが厚く環境が良いと言われていたからです。自分自身海外渡航がほぼ初めてみたいなものだったので困ったときの手助けや治安は決めるときに大事にはしていました。また、南カリフォルニアに行ってみたかったのも理由の一つでした。
大学・学生の雰囲気	大学は比較的新しいアーバイン市の都市計画の一環として作られたため、整備が行き届いてかなりきれいなキャンパスです。そのため、伝統を感じるというよりは新しさ、フレッシュさがまだ残っている感じです。ジムやプールもあり設備は充実しています。学生に関してはみんな優秀でアメリカの大学らしく積極的に授業に参加しますが、勉強ばかりでなく遊びとのバランスが良い学生が多い気がしました。学生の割合としては地域的にアジア系の学生が多く、世界各国から様々な学生が来ているのでバリエーション豊かな雰囲気です。
寮の雰囲気	寮ではインターナショナルの学生が三階建ての一つの建物に20~30名ほど滞在します。基本的には二人部屋でそれぞれデスク・ロッカー・ベッドが備え付けられている部屋にアレンジされます。またキッチン、バスルーム、リビングルーム、勉強ルームが全員で共有になっており、一緒に料理や団らんをして交流できました。寮ではたまにピザパーティや映画パーティのようなものが開催され他の寮の学生とも混ざって楽しめます。各国から来る友達が絶対にできるので、文化の違いやお互いの言語などで盛り上がるのが楽しかったです。
交友関係	最初のうちは寮ではみんなあまり一階に降りてこず、結構静かにしていました。しかし一週間後くらい経つと、生活に慣れてきたのか一階で話す機会が多くなり一気に友達ができました。さらにサマーセッションでは多くのツアーやプログラムが組まれており、それらに参加することで自然と友達が増えていきました。そのおかげでセッション1が終わるころに多くの友達が故郷に帰っていくのでかなり寂しい気持ちになりました。みんなとは音楽をかけて踊ったり、ビーチに行ったり、アミューズメントパークに行ったりして時には勉強を忘れて楽しめました。これから友達が住んでいるほかの国に行こうと計画しています。
困ったこと、大変だったこと	最初のころは予想していた通りコミュニケーションが大変でした。海外が初めてだったのでファストフード店の注文でさえ結構緊張してしまうことが多かったです。ただ大体耳もよくなり、言えればいいことは途中からわかってくるので大変だったのは初めのころだけでした。もうひとつ大変だったのは、スマートフォンをプールに落としてしまったことです。修理屋が遠かったので、日本に帰国してから修理しようと思いましたがやはり困ることがありました。なんといっても知らない土地なので、地図や公共交通機関が調べられない、外で友達と連絡が取れないなどの点がかなり不便でした。
学習内容・勉強について	私は商学部の学生なので、マネジメントコースの授業とアカデミック英語を一つずつ取りました。授業の仕組みは日本とは違い、講義とディスカッションが混ざったようなものが多かったです。私は英語が聞き取りやすい教授を選んだので理解はしやすかったです。授業中に発言したり、学生の発言内容を聞き取ったりすることがやはり難しかったです。ふと気がすると話がすぐに分からなくなるのが歯がゆく感じました。周りの学生と教授は優しいので質問したらきちんと聞いてくれたので、英語が苦手でもなんとかなりました。ただ基本的にペラペラと話せないのは日本人くらいなので、もっとみんなと同じくらい話したいのにというフラストレーションはありました。

課題・試験について	課題は授業によりますが週で平均3～4個の課題が出ていたような気がします。最初は読まなくていいところや軽くやってもいいところなどが把握できておらずかなり1つの課題に時間をかけてしまいました。留学前に読む量をこなしていればもっとスムーズにいったのではないかと思います。また、試験に関しては中間試験と期末試験があり、それぞれ結構範囲が広く1日前では終わらないくらいにはありました。さらに試験の仕組みも選択式と記述式があり、後者は書きたいことを流れて把握しまとめる必要があって特に勉強時間をかけました。
大学外の活動について	大学外の活動は3か月という短い期間だったので、旅行やレジャーを楽しんでいました。UCIの立地はロサンゼルス、サンディエゴに近く、近所にもローカル空港があったのでサンフランシスコにもある程度簡単に行けます。せっかくの機会なのでカリフォルニアをかなり満喫しました。また遠出できないときは近所にたくさんあるビーチに行ったり、ショッピングセンターに行く機会が多かったです。ビーチは気軽に行けるのに何処も水がきれい波もよく、特に自分のお気に入りになっています。
留学を志す人へ	自分から他の学生や学校にきちんと関われば、絶対に価値のある留学生活になると思います。最初は何もかもよくわからないので少し落ち着いて過ごせば大抵何とかなります。だから、いちいち焦る必要はありません。ただ生活に慣れてくると自分の甘さがおそらく出てくるのでそれをいかにコントロールできるかが大事です。「面倒くさいから適当でいいか」という風に考えてしまうと少なからず後悔が出てきてしまいます。後悔のない、充実した経験にするため一生懸命一つ一つにとりあえずチャレンジしてみてください。そうすれば楽しくて終わりの方では日本に帰るのが少し嫌になっているかもしれません。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中						遊び、旅行	遊び、旅行
	授業	予習、課題	授業		授業	↓	↓
午後	昼寝	授業		授業	課題		
	予習、課題				課題		
夕刻	プール、ジム	プール、ジム	プール、ジム	プール、ジム	プール、ジム		
夜	映画、課題	課題、予習	課題、予習	課題	レクリエーション、課題		課題、予習